

特別講演「**歯周組織再生療法を成功に導くための鍵**」

シンポジウム「**インプラント審美について**」

講師：北島 一先生

日時：平成27年10月4日（日）

場所：東京コンファレンスセンター品川



千葉 貴大（東京都）

平成27年10月4日（日）、東京コンファレンスセンター品川にて第2回定例研修会が行われた。

開会に先立ち今回で2回目となる「フレッシュマンプレゼンテーション」にて発表させて頂きました。

上顎前歯部欠損の骨造成をテーマに様々な手技、手法に対する疑問点を含めて相談させて頂きました。定例会委員長の水口先生を始めとして経験豊かな諸先生方よりご自身の臨床経験を踏まえた貴重なアドバイスを頂く事が出来ました。

症例がない先生方や初歩的なことで聞きづらいなと思うようなことでもこの企画であれば気兼ねなく相談できるのではないかと思います。

午前の部は高橋純一先生の会員発表と審美をテ-

マとしたセレクトドクターによるシンポジウムが行われました。

武井賢郎先生からは「**審美治療の基準**」

再修復において顔貌の審美を基準に口腔の審美を確立するための具体的な治療のステップについて症例を通して解説して頂いた。

藤江匠摩先生からは「**審美領域におけるインプラント補綴の考察**」

上顎前歯部領域を審美的に成功させるための歯周組織の分析、歯牙の形態、色調分析について歯科技工士という観点より発表して頂いた。

水口稔之先生からは「**インプラント審美の理論とさらなる進化**」



第2回定例研修会／CISJ

様々な工夫、エビデンスを重ねてインプラント審美の一定の理論が進みつつあるなかで、既存の概念だけにとらわれず新たな可能性を実証していく取り組みについて講演して頂いた。

咀嚼、嚥下、発音といった口腔機能の回復に加えて審美性を具備した治療に対してのニーズは高まっていく中、諸先生がたの素晴らしい講演を興味深く聞かせて頂いた。

午後の部では北島一先生の特別講演がありました。題目は「歯周組織再生療法を成功に導くための鍵」再生療法の成功のための様々なテクニックやポイ

ントを沢山の症例をもとに教えて頂いた。一見保存不可能と思われる歯が様々な治療オプションを適切に駆使することにより長期にわたって維持されているのを目の当たりにし、早期に判断をつけることの危険性を強く認識した。また「できないということをいわない」という信念で難しい症例にチャレンジし続けてきた先生に深く感銘を受けました。

定例研修会後の懇親会では北島先生にもご参加頂き、私も楽しい和やかな一時を過ごさせて頂きました。

ありがとうございました。

